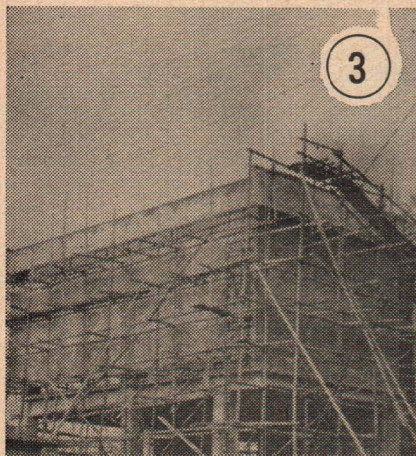




(写真) 建設中の青少年ホーム

3

第3は建設事業の積極的推進をあげています

道路の維持改善対策は市制施行以来、大きな課題としてとりあげられてきましたが、まい年、1本ないし2本の舗装道路を実現しようという基本的な考えにたつて、新年度においても馬喰町線、仲町線の舗装工事費として801万円を計上しました。

また、市道全般にわたる工事費としては、1,580万円という多額の予算を計上し、道路の補修に万全を期すことにしております。橋梁の維持改良対策としては中岱橋、山館橋などの架替費として、348万円、戸沢橋架替に590万円を

計上、そのほかに架替補修費として219万円をそれぞれ計上しています。

都市計画関係では大館駅、東大館駅線の街路事業として1,437万円を計上していますが、新年度には、この線を結ぶ長木川に3,750万円を投じて永久橋をつくることにしています。

一方、住宅対策としては、昨年度は獅子カ森に第1種公営住宅8戸と第2種公営住宅8戸、合せて16戸建設して住宅難の緩和をはかってきましたが、新年度では、さらに第1種公営住宅16戸と、第2種公営住宅8戸、合せて24戸を新築するために、2,042万円を予算計上しました。

第4としては教育の振興をあげています

40年度から3カ年計画で建設中の「南中学校」の建設工事も順調に進められていますが、2年目に入った新年度では4,387万円を計上、今年中に校舎を完成することにしています。

一方、屋内体操場は計画3年目の42年度に建設を予定しています。

また、小、中学校の特別教室の新築も計画し、新年度では下川沿中学校の特別教室を248万円で、杉沢小学校の特別教室を297万円でそれぞれ新築することになっています。

このほか、第二中学校のプール建設に480万円、市営球場施設整備費として1,009万円が計上されており、学校教育はもちろん、社会教育、保健体育面でも所要の経費を計上し、教育の振興を主眼としています。



4

第5は財産造成事業の推進をあげています

普通財産造成費としては、市有林造成費を326万円を計上しており、財政調整基金費として565万円を投じて財産の造成をはかることにしています。

この5つの重点施策のほかに、主な事業をあげてみますと。

失業対策事業を円滑に遂行するために吸収人員を12,000人みて1,323万円を計上しています。

また、社会福祉関係では、待望の老人ホームを建設することにし、このため

の建築費に1,395万円、用地買収費に225万円を計上して、めぐまれない老人のかたがたに明るさをとるもどそうとしています。

また、保育園関係では、城南保育園の増築を考え、93万円、さらに新沢保育園を移転させるために120万円を計上しており、今年大型予算の特徴としては市民、とくに家庭に直結した予算であるということができるといいます。



5

市立総合病院

市民の要請に総力を結集

大館市立総合病院は、2月13日に発足したばかりで、まだ日が浅いわけですが、県北地方における唯一の公的医療機関としての市立病院の経営はことしの大きな課題になっています。

市立病院が発足以来、県北では最大の規模と医療施設、さらには総合病院にふ

さわしい高度の専門技術をもった医師が多いという利点もあって、利用者も多く順調なあゆみをつづけています。

ことしは、さらに医療施設をはじめ、医療陣容などの充実をはかりながら、発足にあたって市が計画した「市立病院の合理化計画」をとおして、市民のご要望

にこたえたりっぱな病院に育てあげることに総力を結集することになっておりますので、「市民のための市立病院」として、こんごも大いにご利用くださるようお願いいたします。